## 平成24年度 山村開発センター屋根改修工事

番号	図 名	縮尺	番号	図名	縮尺
意 — 01	表紙・図面リスト	_	意 - 08	屋根伏図	1:200
- 02	建築改修工事特記仕様書-1	_	-09	立面図	1:200
- 03	建築改修工事特記仕様書-2	_	-10	天井伏図	1:200
-04	附近見取り図 配置図	1:400	-11	ロビー展開図	1:50
- 05	内外仕上表	_	-12	部分詳細図- 1	1:30
- 06	1 階平面図	1:200	-13	部分詳細図-2	1:30
- 07	2 階平面図	1:200 1:100			

DATE

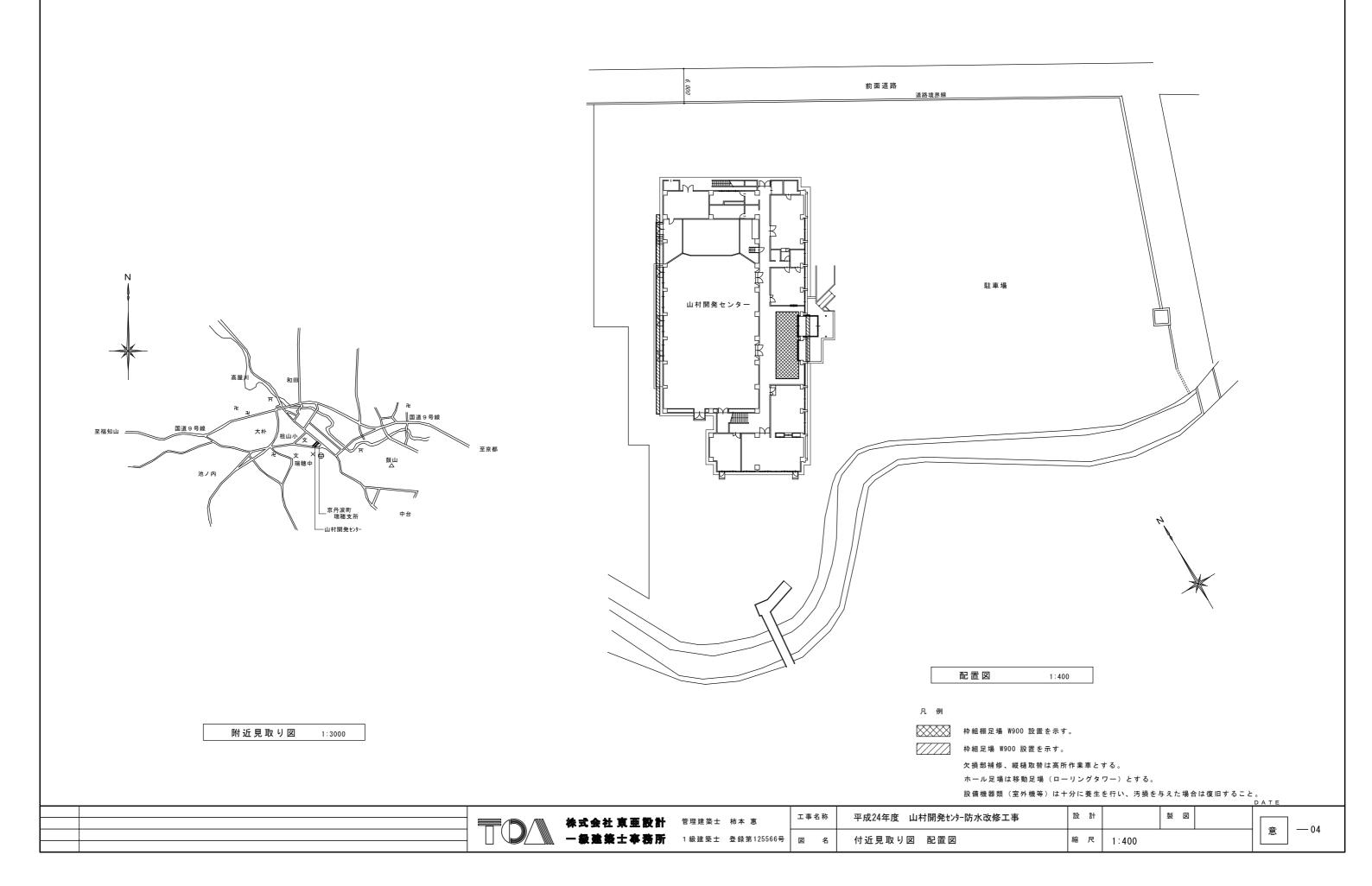
式会社 東亜設計 管理建築士 柿本 惠 級建築士事務所 1級建築士 登録第125566号

 エ事名称
 平成24年度 山村開発センター防水改修工事
 設計
 製図

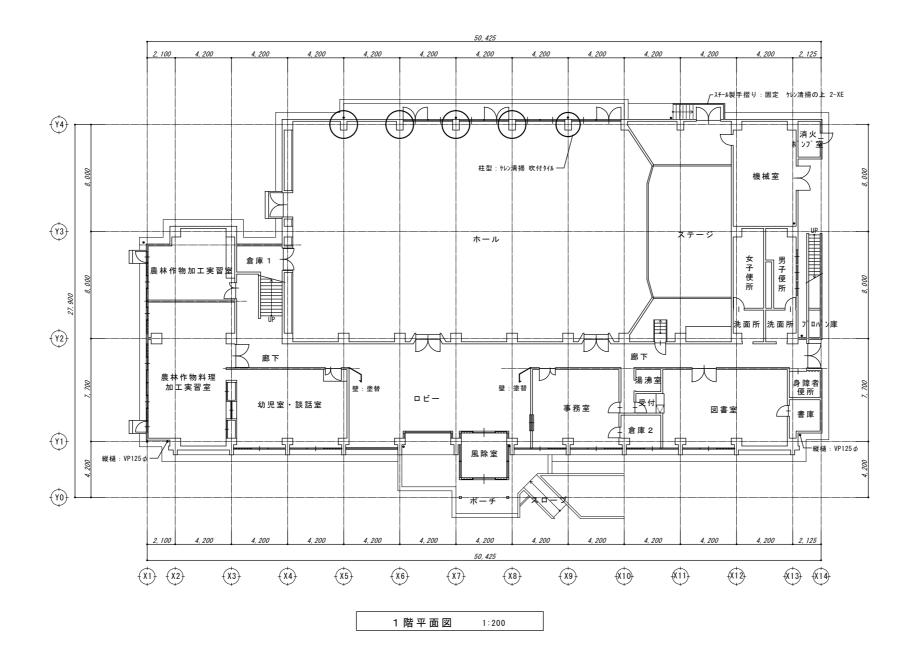
 図名
 表紙・図面リスト
 縮尺

		_	<b>-</b>	# 57		<b>-</b>	<u> </u>		44	•	-				4+			•		
建築	改修工事特記仕様書	平	項目	特記	<b>#</b>	項	章項	目	特	記	-	項	章	項目	特	51		事	項	
				ệ基準法に基づき定められた風速及		7 TABLE (IV AT A D A D A D A D A D A D A D A D A D		査のための破壊 分の補修	既存破壊部分の補修方法	※ 図示 O				3 仮設間仕切り	O 設ける (	図示 ) 〇 A種	OB種	※ C種		
【1】 工 事 概 要 1. 工 事 場 所 京	都府船井郡京丹波町大朴	1	に対する性能	風速 (Vo)     ※ 3 2 ○       地表面粗度区分     ○ I ○       多雪地域の指定     ※ なし ○	$\mathbb{I}  \  \    \mathbb{I}  \  \   \mathbb{I}  \   \mathbb{I}$	1建設省告示第1454号)	1	(1.5.3)				4.00	2	4 監督職員事務所		n'程度 ○ 20 m'程度	○ 35㎡程度	○ 65㎡程度	〇 100㎡程	⊒ <i>1</i> #
1. 2 2 30 77	出がり、ルスティー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー	'		ショ地域の旧た ※なじ 〇	80 9		'   ⑥ 技能	能士 (1.6.2)	工事種別	適用する技	技能士の技能検定	(1.6.2 における選択作業			仕上 床	····哇及 ○ 25/i····哇及 ○ 合板張り素				
2. 敷 地 面 積	3, 505. 25 m²	_		本工事の施工にあたっては、請負も 者又は監理技術者と同様、請負者と			_		仮設工事 鉄筋工事	● とび作業 〇 鉄筋組立作業			- ↓ 仮		内壁、 屋根	天井 〇 合板又は石 〇 塗装溶融亜			ョンペイント塗り {り調合ペイント塗り	ij
3. 建築物概要	LE VE 100 NE 100 TEE / 2) TO PETE / 2) HE TO	般		しなければならない。			般		コンクリート工事	〇 左官作業		O 型枠工事作業	┤ 設 -  エ		休憩室		〇 設ける(		o del mile	
棟 名   1 山村開発センター	構 造 階 数 建築面積(㎡) 延床面積(㎡) 備 考 鉄筋コンクリート造 2階 1,183.17 1,577.85 昭和57建設		⑥ 工事工程報告 ※ )	月報は毎月20日に〆め、25日までに	に提出する。		共     通		鉄骨工事	O コンケリート圧送エ O 構造物鉄工作		つ とび作業	事		備品 〇 机	○ いす 寺計 ○ 温度計	<ul><li>○ 書棚</li><li>○ 消火器</li></ul>	<ul><li>無板</li><li>掃除具</li></ul>	<ul><li>○製図板</li><li>○加入電話機</li></ul>	<b>菱</b>
		事項		日報は監督職員の指示による。 週報は毎週( )曜日に提出する			事		プロック及びALCパネル工事 カーテンウォール工事			O ALCn° ネル工事作業 O ピル用サッシ施工作業	4			中電灯 ○ 湯沸器 養帽 ○ ゴム長鞘	〇 冷暖房機		( 1公租店	<b>辛</b> )
		場					棋			〇 ガラス工事作業					※ 改	修標仕(平成22年版	※ 建新	· 楽工事監理指針	(平成22年版)	
			⑦ 工事実績情報の ※ i 登録 (1.1.4)	適用する (適用事項は、現場説明	月書による) O 適用	目しない			防水工事			● シーリング防水工事作業 ○ セメント系防水工事作業	$\parallel$			陰工事施工チェック∶ 事写真の撮り方(改訂)			図(平成22年版)	()
4. そ の 他			⑧ 施工体制台帳等 ※ 8	請負者は、請負金額3千万円以上(	<b>建筑_ま</b> てまについてけれる	£555881 F) Ø				O 7クリルコ゚ム系塗肌 O 合成コ゚ム系シート		O FRP防水工事作業	7	⑤工事用水	機内肝方の体質	と ※ 利用できな	. <b>A</b> 利用で	: <b>÷</b> ス (♠:	有償 〇 無償	
4. C 07 IE			の作成・提出	工事について、施工体制台帳(下部	青契約書等添付)及び施工体					● 塩化ピニル系シー	ト防水工事作業		1							
				督職員に提出しなければならない。 請負者は、工事完成時に、建退共返		ればならない。			石工事	<ul><li>○ 改質アスファルトシー</li><li>○ 石張り作業</li></ul>	トトーチエ法防水工	<b>事作業</b>	$\parallel$	⑥工事用電力	構内既存の施設	※利用できな	い ● 利用で	:ea (●:	有償 〇 無償	i )
									タイル工事	○タイル張り作				7 仮囲い等	※ 図示	0				
				C範囲 ※ 図示した鉄筋コンクリート部の〕	貫通孔、開口部の型枠及びそ	それらの補強			木工事 屋根及びとい工事	<ul><li>◆ 大工工事作業</li><li>○ 内外装板金作</li></ul>		つ かわらぶき作業	$\parallel$	8 設計 G L	※ 図示	〇設計GL=現料	‡G L			
【2】 適 用 範 囲 現場説明集(質経向)	答書を含む)、本特記仕様書、図面、改修標準仕様書に示す範囲とする。			※ 図示した壁、天井の仕上材、下: ※ 駆動装置が電動による建具類の:		強			金属工事	<ul><li>○ スレートエ事</li><li>● 鋼製下地工事</li></ul>		O 内外装板金作業	$\parallel$							
すべての設計図書は村	目互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。		;	※ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込					左官工事	● 左官作業		V 177190 (M III 1770	1							
	は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書 (建 F版) をいう。 (以下、これを「改修標仕」という。)		施工	□凶 設備機器の位置、取合等の検討でき	る施工図を提出し、監督職員	の承諾を受ける。			塗装工事 建具工事	<ul><li>● 建築塗装作業</li><li>○ ピル用サッシ施工</li></ul>			$\parallel$	1アスファルト防水				!		
本書に特に記載のなり	事項にあっても、すべて、「改修標仕」の適用を受けるものとする。		① 施工図等の ※ が	施工図等の著作権に係わる当該建翁	5.物厂阻 5.债田掺什 杂注字	一枚贈される			内装工事	○ ガラス工事作		○ 自動ドア施工作業 ● ボード仕上工事作業	$\parallel$	(3. 3. 2)	種 OP1B	工法 〇 B-1			工 箇	所
【3】 工 事 区 分			取扱い (1.2.3)	尼土四年の日下港にはいるコの左右	CINICIA O CITIERO DAL	1C1988 C1000				O カーペット系床仕	上工事作業(		3	(3. 3. 5)	OP1 B I	I( ) KI-I	※ BI-2 表3	3. 3. 4		
設計図書による。 別契約の施工上密接に	<ul><li>関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。</li></ul>		① 工事写真 ※ 3	工事写真の撮り方(改訂2版)建築	<b>桑編(国土交通省大臣官房官</b>	庁営繕部監修  によ			排水工事	○ 建築配管作業 ○ 溶融ペイントハント			╢		O P 2 A I	工法 O AI-1				
【4】 工 事 仕 様				るほかは監督職員の指示による。 下記のものを監督職員に提出する。					植栽工事	<ul><li>○ 加熱ぺイントマシン</li><li>○ 造園工事作業</li></ul>			小水		OP2 A	工法 〇 A-1	※ A-2 表3	3. 3. 6		
	図書に記載されていない事項は、「改修標仕」のほか別記の適用基準による。				につき) 分類・規格	原版の大きさ (mm)			ただし技能士に代わる者			得ること。	山改		〇露出防水工		到 防:	*B #	工箇	ō6-
<ol> <li>項目は、番号に〇印の</li> <li>特記事項は、●印の付し</li> </ol>	付いたものを適用する。 いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。			着 工 前 ※1 O 工 事 中 ※1 O	※ カラーサービス版 ※ カラーサービス版								I		O M 4 C	工法 0 0-1	※ C-2 表3			171
	合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 載の( ) 内表示番号は「改修標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。		完	屋 内※2 〇	<ul><li>※ カラーサービス版</li><li>〇 カラーキャビネ版</li></ul>	1	⑪ 施工	エの検査等 (1.6.5)	見本施工の実施 〇 道	用する ( I用しない		)	事		OP0D	工法 O D-1 工法	※ D-2 表3	3. 3. 8		
*, 残口及び時記事項に記	秋の ( / F)玖小田 716「以吟味は」のコ飲水は、コ飲色人はコ飲玖とかり。		成時	外 観※2 〇	※ カラーキャビネ版	O 24×36以上									O=UP+444		•	·		
章 項 目	特 記事項		<u> </u>   <u> </u>   <u> </u>	( 10 )箇所  写真をデジタル写真で撮影する場合	O カラーパネル半切 合には、完成写真については			学物質の濃度 測定 (1.6.9)	※適用する (適用事項 2ヵ所 (ホール、		る) Oi	適用しない			〇露出防水絶線		別 防:	水層 施	工 箇	所
① 適用基準等	※ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 平成22年版 (監修:国土交通省)			画素程度、工事写真は有効画素数1 読できる精度を確保するものとする		文字等の内容が判		<b>載図 (182</b> )	※ 作成する (提出き	【数※2部○ 善	<ol> <li>(1) 詳細は監</li> </ol>	<b>啓職員の指示による</b> 。			OPODI OM3 DI	工法 O DI-1	※ DI-2 表3	3. 3. 9		
, <u>Enert</u>	※ 建築工事標準詳細図 平成22年版 (監修:国土交通省)		*5	完成写真撮影場所は、監督職員の指	旨示による。		(3) )[]	WE (1.0.2)	※ 完成図等の電子データ						OM4 DI	工法				
1	○ 敷地調査共通仕様書     平成11年版     (監修:建設大臣)       ○ 建築鉄骨設計基準     平成10年版     (監修:建設大臣)		• 5	完成写真撮影業者は、監督職員の利	依諾する撮影業者(建築写真	専門業者)とする。	② 保全	全に関する資料	※ 作成する (提出部数	※ 2部 O 部)	〇 作成し	ない			〇屋内防水工					
_	● 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 平成22年版 (監修:国土交通省) ○ 木造建築工事標準仕様書 平成22年版 (監修:国土交通省)		12 電気保安技術者 ※ i	適用する 〇 適用しな	: ( )			(1.8.3)	○ 敷地、建物の構造規 ○ 建物を使用する上で		党等の建物概要				種 OP1 E	工法 O E-1	<b>※</b> E−2		工 箇	Ph
般	O 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) 平成22年版 (監修:国土交通省)								O 建物に設置されてい	る家具、機器等及び					OP2E	工法	300	3. 10		
共	<ul><li>○ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) 平成22年版 (監修:国土交通省)</li><li>(注:監修欄「国土交通省」は国土交通省大臣官房官庁営籍部を、「建設大臣」は建設大臣官房官庁営籍部を示す)</li></ul>		③ 施工条件 (1.3.5) ※ 項	現場説明書による。					<ul><li>○ 建物、工作物、植裁</li><li>○ 主要材料の製造所名</li></ul>							の種類 ※3 レーフィング ※15				
事 ② 建築材料等	※ 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のも		(1.3.8) ○ 5	引渡しを要するもの ( 現場において再利用を図るもの、P	<b>返済酒化を図るま</b> の	)			建設大臣官房官庁営 「建築保全業務共通仕			全の手引き」及び				ファルトルーフィング 厚る	* (mm) O		7 D 14	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	のとする。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。			(		)										種類	列 ※ 非章 O	露出複層防水層	11代理	
	※ 下記材料品目は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材			指定副産物の搬出(詳細は現場説明 ○ アスファルトコンクリート塊		■ 建設発生木材									〇改質アスファルトメ	N-フィング シート 厚 i 種!	* (mm) O 別 ※露5		R種	
	等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」 にある材料とする。 また、同評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員		1	指定副産物の処分地(詳細は現場覧 〇 指定地処分 (	説明書による)	)	①足場	場その他	※労働安全衛生法、建築	基準法、建設工事公	<b></b> 衆災害防止対策要	綱その他関係法令			断熱材(保護和	ナル 脈熱 エ注 \	0			
	に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとすることができる。 (評価名簿によるもの)			<ul><li>● 自由処分 ( 最寄りの再 指定副産物以外の搬出</li></ul>	資源化施設へ搬出すること	)		(2. 2. 1)	に従い、適切な材料及で 外部足場 ※ A種			行う。 (表2.2.1)				č (mm) O				
	床型枠用鋼製デッキプレート(フラットデッキ)、鉄骨柱下無収縮モルタル、			指定側座物以外の版出 ※構外搬出適切処理 ○ (		)	2		内部足場 ※脚立、原		0 51±	(32.2.17			村		ドリスチレンフ 、特定フロン?		3種bのスキン Dとする。)	·曆付
	無収縮グラウト材(プレミックス型、現場調合型)、押出成形セメント板、 成形伸縮目地材、乾式保護材(防水立上部)、陶磁器質タイル(陶器質タイル、		1	特別管理産業廃棄物の処理 〇 廃石綿等   〇 PCBを含む4	機器類 ○PCB含有シー	リング			防護シート等 ○ 防音パネル ○ 防	音シート ● 養生	シート 〇ネッ	ト及び養生シート			断熱材(露出版	〇 5水断数丁注)			_	
	せっ器質タイル、磁器質タイル、再生材利用タイル)、既製調合モルタル(タイル工事用)、 既製調合目地材、ルーフドレイン、吸水調整材(モルタル用)、アルミニウム製建具、			〇 廃油 〇 廃酸・廃アル			仮設		材料、撤去材等の運搬 〇 A種 ※ B種		O F#	(表2.2.2)				ė (mm) O				
	鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類(シリンダ箱錠、レバーハンドル、			〇 SF6ガス使用機器 廃石綿の処分地 (㈱京都環境	保全公社瑞穂センター	)	Ĭ								村	質 ※ ルーフ· O	ィング類製造所	の仕様による		
	ジリンゲ、本締り錠)、クローザー類(ドアウローザー、ヒンジクローザー、フロアヒンジ)、 自動屏機構(制御装置・駆動装置、検出装置、制御装置・駆動装置・検出装置)、			CB含有シーリング材の分析調査 ○ 行う ( 箇所 )	Ο 行わない		事		※ 足場は、「手すり先行 の 「手すり先行工法等						絶縁用シート		チレンフィルム トヤーンクロス		— 防水工法) )(保護防水断	·····································
	自閉式上吊り引戸機構(手動開き式)、重量シャッタ-、軽量シャッタ-、 オーパーヘッパ・ド・ア、ガラス(フロート板が ラス、型板が ラス、網入板が ラス・線入板が ラス、		PC	こので、このでは CB含有シーリング材の撤去・処分 C取扱」による。		伴う有害物質等の適			足場に関する基準」に			後能を有する足場とし、 6 足場の組立等に関する				0			——	in mc — /A/
	熱線吸収板が ラス、倍強度が ラス、熱線反射が ラス)、ガラスブロック(中空)、			D建設廃棄物は再資源化する。								足場方式を採用すること			押え金物 立上がり部					)
	防水剤、ビニル床シート、ビニル床タイル、現場発泡断熱材、 フリーアクセスフロア(3000N、5000N)、可動間仕切、移動間仕切(スライディングドア)、			〇 蛍光灯ランプ 〇 HII	○ランプ ○ 硬質塩化ビニ	ニル管・継手	2既存	存部分の養生	既存部分の養生 ※ 行	う (※ピニー	ルシート 〇_	)				※ レンガ押え (J	○ 適用しな IS) ○ ○コンケリー		タル押え	
	トイレブ-ス、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、			里計画書等の提出 ※ 面生姿質利用促進計画書 宝佐	また"CDEDAC 3 もいっこ!"!- しょ	作成  +=山		(2. 3. 1)		わない						〇 乾式保護材	,			)
	屋上線化システム(屋上線化システム、屋上線化軽量システム)、トップライト、 エボキシ樹脂、タイル部分張替え用接着剤、ポリマーセメントモルタル、			※ 再生資源利用促進計画書、実施: 用ファイルデータと共に提出すること。	>				O 行	わない					保護層 平場の	<b>のコンクリート厚さ</b>	O Oこて仕上			
	鋳鉄製マンホール蓋・弁枡ふた			※ 建設発生土及び建設副産物処理 = フェスト制度	計画書、報告書 を提出する	こと。			既存ブラインド・カーテン 養生の方法 ※取り		※ 行う O	〇 行わない			脱気装置	〇設ける		張り等仕上げ_	m_	)
③ 特別が材料の工法	※ 設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。		;	- フェスト 1912 ※ 産業廃棄物管理票(マニフェス ※ 産業廃棄物の処理を委託する場					保管場所 ※室内 家具の移動 ※行	こてカバー掛の上、 う ( 図示	適切保管 O						設置数量(	1箇所/	m <sup>°</sup> )	
● 14万万分1740上広	へ BAN ME 目に配象となりとというと TFM 体われれい上級は、 当該教師が指定上級による。			※ 産業廃業物の処理を安託する場合 者と処理委託料を記載した「処						> \u00e40	J 1117/4U					※成形伸縮目地 ※ ルーフィング類製:		0		<u> </u>
									<u> </u>	<u> </u>					1.				D A	TE
					株式会	<b>比東亜設計</b>	管理建	建築士 柿本	惠工事名	'"	戊24年度 ∣	山村開発センター防	水改	修工事	設計		製図			±02
					一級建筑	<b>集士事務所</b>	1 級建	建築士 登録第	第125566号 図	名 建笔	色改修工事:	特記什様書-1			縮尺					意 — 02

章 項 目 特 記 事 項 1	車 項 目	特 記	事 項 1	車 項 目	特記	*	項章	項目	特記	事	
2 改質アスファルトシート防水       (3.4.2)       種       別       防水層       施       工       箇       所         (3.4.4)       (3.4.4)       〇番出防水絶縁工法       日本       別       防水層       施       工       箇       所         〇番出防水絶縁工法       日本       別       防水層       施       工       箇       所         〇番出防水絶縁断熱工法       日本       別       防水層       施       工       面       所         〇番出防水絶縁断熱工法       日本       別       防水層       施       工       面       所         〇番出防水絶縁断熱工法       日本       日本 <t< td=""><td>⑨とい(雨水) (3.8.2)</td><td>ルーフドレイン等 ※ 鋳鉄製</td><td>以上 〇 は 〇 以上 〇 位 位 質 その他 質 その他 角形) (前高) 巾120mm (カラー)巾150mm</td><td>④錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) 4</td><td>鉄 A種 鉛・ケルムフリーさび止め 水素さび止め 亜鉛 A種 鉛・ケルムフリーさび止め ・ 水素さび止め ・ 日種 ・ かかしたフリーさび止め ・ 日種 変成式・計機能プライマー 面 C種 水素さび止め ・ 工程の種別 記号 名 ・ 合成樹脂調合 ・ イント塗り ・ 株舗</td><td>  一</td><td>(表7.14.1) 種種/ 種種/ 種種/ 種種/ 種種</td><td></td><td>○ 復居塗材 C E ○ 位   位   位   位   位   位   位   位   位   位</td><td>上 げ</td><td>  柱型</td></t<>	⑨とい(雨水) (3.8.2)	ルーフドレイン等 ※ 鋳鉄製	以上 〇 は 〇 以上 〇 位 位 質 その他 質 その他 角形) (前高) 巾120mm (カラー)巾150mm	④錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) 4	鉄 A種 鉛・ケルムフリーさび止め 水素さび止め 亜鉛 A種 鉛・ケルムフリーさび止め ・ 水素さび止め ・ 日種 ・ かかしたフリーさび止め ・ 日種 変成式・計機能プライマー 面 C種 水素さび止め ・ 工程の種別 記号 名 ・ 合成樹脂調合 ・ イント塗り ・ 株舗	一	(表7.14.1) 種種/ 種種/ 種種/ 種種/ 種種		○ 復居塗材 C E ○ 位   位   位   位   位   位   位   位   位   位	上 げ	柱型
防湿層   ○酸ける   ○酸けない   ②   ②   ②   ②   ②   ②   ②   ②   ②	⑩アルミニウム製 笠木 (3.9.2) ~	とてどい扱い場とが見とがある。 ※ 亜鉛メッキ鋼板 防露巻き ※ 改修標仕表3.8.3に。 ※ 掃除口を設ける(開放性のある自転車置き の養生鉄管を設ける(経 厚さ の既存といの散去及び養生( ののたてどい受金物(   種類 板厚(mm) 表面処理 回3  ● 250 形 1.6 ○ A-1種 (無着色) ※1.3 ○ A-2種 (無着色) ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○ □ ○	************************************		C L         クリヤラフカー塗り         〇 A           F E         フラル酸樹脂エナル塗り         木部           N A D         アクリル樹脂系 非水分散型塗料塗り         〇 A           D P         耐候性塗料塗り         鉄鋼           上塗り塗料等級 〇 (         フクリー ・ 押出り           E P - G         つや有合成樹脂 エスルションへ、イント塗り         よのり 木部 鉄鋼 亜鉛           E P         合成樹脂         〇 A           E P         合成樹脂         〇 A	塗替え   その他塗替え   その他塗替え   その他塗替え   ・新規   表7.6.1   表7.6.2   かっき銅面   本7.6.2   かっき銅面   ○ A種 ○ B種 ○ C   のっき銅面   ○ A種 ○ B種 ○ C   のよりが、	種種種種 理理種 一ラー 慢種種種種種	<ul> <li>4 軽量鉄骨天井 下地 (6.6.2)         (6.6.4)</li> <li>じまります。</li> <li>じまります。</li> <li>じまります。</li> <li>しまります。</li> <li>しまりまする。</li> <li>しまります。</li> <li>し</li></ul>	タイルの試験張り ※行れ タイルの見本焼き ※行れ 窓回りの固定 ※行れ 野縁等の種類 屋内 ※19型 屋外 ○19型 既存の埋込みインサートの使用 あと施工アンカーの引抜き試験 屋外のはずれ留め補強 ※有り 耐震性を考慮した補強 ○有り 引りボルト間隔が900mを超える場 種別 ※改修標仕表6.13.1に、 種 類 ●せっこうボード(GB-R) ○ 化粧せっこうボード(GB-D)	つない 〇行う つない 〇行う 〇 25型 ※ 25型 ※ 再利用しない 〇 行う ( 箇所以上、 〇 行わない 〇 無し ○ 無し ○ 無し 合 神強方法 ※ 図示 は る J I S規格品とする 規格・厚さ ※ 12.5 (不燃) ○ 9.5 (3	し (表6.6.1)  〇 再利用する N/箇所 )  〇 (表6.13.1)  5 (加) 等  拿不燃) 〇 12.5 (不燃) のとする)
※建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。   製品・製造所 (ポリエステル変成ポリラリック可塑材100%) (株) 京都防水とクー早川ゴム(株) (株) いわい   種 別 防水層 施 エ 箇 所   ○ P 0 X 工法 ※ X-1	②塗装材料 (7.1.3) ③下地調整 (7.2.2) ~ (7.2.7)	ORC種           鉄鋼面         ORA種 ※RB種           ORC種           亜鉛めっき面         ORA種 ※RB種           ORC種	※含有量の少ない規格品 (表7.2.1)~(表7.2.7) 備 考	6マスチック塗材 塗り (7.15.2)	模様塗料塗り	3.1  種 ※ B種  *面	. 15. 1)		<ul> <li>シージングせっこうボード(GB-S)</li> <li>強化せっこうボード(GB-F)</li> <li>ロックウール吸音ボード(GP-C)</li> <li>グラスウール吸音ボード(GP-C)</li> <li>・ の変音があきせっこうボード(GB-C)</li> <li>・ ロックウール化粧吸音板(DR)</li> <li>・ けい酸カルシウム板(0.8FK)</li> <li>・ メラミン樹脂化粧板</li> <li>・ 対燃素・セメント板</li> <li>・ 対燃素・モセメント板</li> <li>・ 黄連合板(※難燃処理〇防煙処理)</li> <li>・ 表板の</li> </ul>	○ 模様なし     ○ 15 (不燃) ○ 12.5 (準     ○ 21 (不燃) ○ 15 (不燃) 3) ※25 ○ 0 8) ※25 ○ 0 9) ○ 9.5 (準不燃) 内部用 フラット ○ 12 立体模様 ● 15 軒天用 フラット ○ 12 立体模様 ● 15 インタイプ 2 (無石線) ○ 8. JIS K 6903 による※1. ○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 5 接着の程度 樹種 ○ なら ○ しおじ 接着の程度	不燃)※9.5(準不燃) ) ○12.5(不燃) (不燃) ※9(不燃) (不燃) ※12(不燃) (不燃) ※12(不燃) (不燃) ※12(不燃) 0 ● 6.0 ○ 2 ○15 ○15 表板樹種 しな 防虫処理○行う 防虫処理○行う
(株成年版は上手日的物引度しより13年間以上とする。)  工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 ※真鍮製エッチング仕上 150×100 ○ 設置数量 ( 1 ) 箇所  ジーリング (3.7.2) ~ (3.7.8)		コンクリート面及び ORA種 ※RB種 ALCパネル面 ORC種	ひび割れ部の補修       〇適用する     〇適用しない       ひび割れ部の補修     〇適用しない	①モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6) ②タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.5)	仲縮調整目地等 外壁及び床面 ※ 屋内壁面 ※ 施工後の確認及試験 浮きの確認 ※全面打診に	e6.15.6(b)(3)による ○ 図示による ○ 図示による ○ はる確認を行う 機による接着力試験 を行う ● 行われ	_))		軽量鉄骨下地ボード返音壁の遮 ※ アクリル系シーリング せっこうボードの目地処理 ○ 日透かし ● 突付け 合板類の張付け ○ A種 ※ B種	<ul><li>○ ジョイントコンパウンド</li><li>○ 継目処理</li></ul>	(表6.13.4) (表6.13.3)
			株式会社 東亜設計 一級建築士事務所	管理建築士 柿本 1級建築士 登録	惠 工事名称 第125566号 図 名	平成24年度 山村開発建築改修工事特記仕村		女修工事	設計縮尺	製図	意 — 03



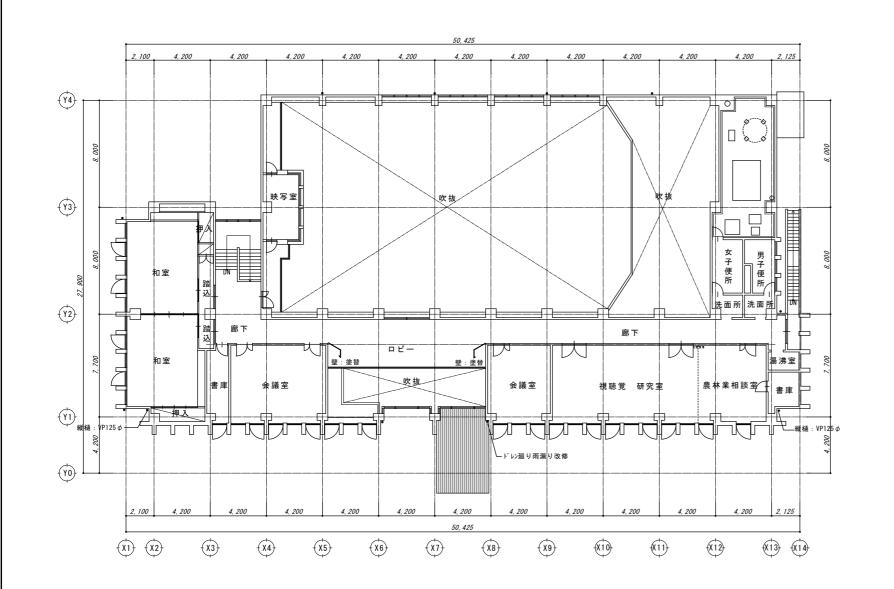
外部位	上表		T 1 184 -1- 47 43 14											1							
屋根	改修後	<ul><li>・ケレン清掃の上 塩化ピニル樹脂</li><li>・パラペット天端: モルタルコテ押ェ塩</li></ul>	糸シート防水祂稼工法 ビシート防水 t=1.5 7	t=1.5 ルミ笠木W=250 (ポリエステル変成ポリメリック可塑材100	0%)		外 壁	改修後			ā ₹M.9M.充填工法 天然石吹付			- 植及び 飾桝	改修後		/P管φ100 (12	!5 ¢ ) カラー ステンレス打	国み金物 @1000 飾り札	1	
本館								改修前	・外壁:コンクリート打放			ED 69	改修前	・ 硬 質 塩 化 ビ ニールV	/P管 φ 100 (125	<ul><li>φ) OP 鋼製掴∂</li></ul>	み金物 @1000 飾り桝	撤去			
	改修前	・露出 アスファルト防水層 ・パラペット天端:カラー銅板笠木	W=210 撤去				軒 天(玄関)	改修後		導塗材E吹付				屋外金物	改修後						
		WE SELL LAND SELL L. SA. 16-						改修前							改修前						
屋 根 ホール	改修後	・硬質ウレタン製断熱材 t=50 塩・ケレン清掃の上 塩化ピニル樹脂			00%)		軒 天(北面庇)	改修後						内外建具	改修後						
		・排水溝:モルタル勾配調整 塩化	ピニル樹脂系シート防オ	K密着工法 t=1.5				改修前			0 外装薄塗材E吹付 撤去				改修前						
	改修前	・折板 山高150 t=0.8 ペフイ ・立上り:モルタル塗り 露出アスファ					屋外階段	改修後	・ スチール製手摺り ケレンオ	青掃の上 2-7	(E 固定			_	改修後						
		・排水溝:露出7スファルト防水層						改修前	・ ス チール製手摺り OP						改修前						
内部仕		(仕上げ又は	、下地名)でのカッコ T	コ付きは、既設材料のままをを示す 							1		T						1		
棟別	階	室名		床	721 21	巾木	721 21		腰壁	721 21		721 21		天 井	72	^゙スト 廻り縁		カーテンBOX		備考	
		玄関	改修後				_	_			清掃の上トップコート塗替						_   -				
本館	1 F		改修前				_	_			コンケリート打放 吹付タイル						_   -				
		□ E −	改修後				_	_			清掃の上トップコート塗替		石膏 *´-ト´ t=9.0 ロックウール吸音 *				_   -		照明器具 スイッチ	コンセント 他設備機器 リ	<u></u>
			改修前					_			コンクリート打放 吹付きイル 有孔シナペニヤ EP		(LGS下地) 石膏*´-ト´ t=9.(	U ロックワール吸 首 板 t=15.0	撤去		_   -				
		ホール	改修後				_	_			柱型一部:ケレン清掃の上 吹付タイル						_   -				
			改修前				_  _	_			有孔シナベニヤ EP (一部撤去) 柱型:吹付タイル						_   -				
			改修後																		
			改修前																		
			改修後																		
			改修前																		
			改修後																		
			改修前																		
			改修後							_					_						
			改修前																		
			改修後												_						
			改修前																		
			改修後							+					_						
			改修前							+					_						
			改修後												+						
			改修前							+-					_						
			改修後							+					_						
			改修前							+											
			改修後							+											
			改修前改修後							+					+						
			改修前							+					+						
			改修後							+											
			改修前							+											
			改修後							+					+						
			改修前							+					+						
			改修後		+					+		+			+						
			改修前		+					+		+			+						
			改修後							+					+						
			改修前							+					+						
			改修後							+					+						
			改修前							+		+			+						
			改修後							+					+						
			改修前							+					+						
			改修後							+		+			+						
			改修前							+											
			改修後							+		_			$\dashv$						
			改修前							+					+						
			改修後							+					$\dashv$						
			改修前							+		$\top$			$\dashv$						
	1	1	1			1		1			1		1			1			1		
凡 例 記号		L+ +*	25	仕様		n =	47.75			, ,	17.92	-	18	4+ ±		2.5		4++=			
1 同上を示す		<b>仕様</b>	記号 R C	鉄筋コンクリート造		記号 <b>O</b> シーリン	仕村			· B コ	仕様 ンクリートブロック造	- I i	2号 :	仕様		記号		仕様			·
() 下地材を	;す		w	木造		S 鉄骨造				RC 軽	量コンクリート										
○ 該当を示す	=		LGS	轻量鉄骨造		ALC 軽量気料	ヨコンクリート				Т						_				DATE
						──		\MM\	施式会計 审	斯 <b>沙</b> 科	● 管理建築士 柿本 惠 ■	工事名称	平成24年度 📙	山村開発センター防	水改修	江事	設計	+	製図		
									_级验性上*		管理建築士 柿本 惠 1級建築士 登録第125566号		<b>+</b> 4 11 1 +				<u> </u>	1			意  05
								111111	一家是家工	产 仮 げ	□似廷未上 豆球弗120001芍	凶 名	内外仕上表				縮尺	· 1			,



改修項目	
4071	天井:石膏ボード t=9.0 ロックウール吸音板 t=15.0 貼替 設備機器脱着
ロピー	壁 : 吹付94% トップ・コート塗替 設備機器脱岩
ホール	壁 :有孔シナペニヤ t=6.0 EP 貼替 吹付タイル吹き替(壁、柱型 20㎡)

 株式会社 東亜設計
 管理建築士 柿本 惠
 工事名称
 平成24年度 山村開発センター防水改修工事
 設 計
 製 図

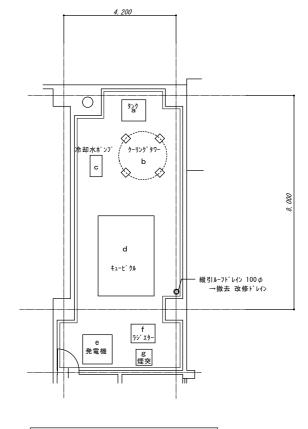
 一級遊袋士事務所
 1 級建築士 登録第125566号
 図 名
 1 階平面図
 箱 尺
 1:200



2 階平面図

## 改修仕様

場所	現 況	改修方法
平場	7スファルト防水層 シンタ・コンクリート	下地全面高圧水洗浄のうえ 緩衝フォーム t=1.0 塩化ピニル樹脂系シート防水絶縁工法 t=1.5 (ポリエステル変成ポリメリック可塑材100%)
立上がり	7スファルト防水層 シンダーコンクリート	下地全面高圧水洗浄のうえ 塩化ビニ#樹脂系ント防水密着工法 t=1.5 (ま*リエスト変成*リリップの型材100%) 入り隅・出隅部は積層鋼板使用
ドレイン	竪引きドレインの100撤去	改修用塩ビ製ドレインφ100用+ドレインキャップ
設備架台	コンクリート打放	天端: ウレン清掃の上 塗膜防水 立上り:塩化ピニル樹脂系シート防水密着工法 t=1.5 (ポリエステル変成ポリメリック可塑材100%)
備考	電気・機械配管支持:100 <i>φ</i>	配管支持 ジャッキアッヷ



1:100

機械基礎リスト

1成1双3	埜 1定リ۸ト			
符号	W	L	Н	数量
а	900	800	300	1
b	300	300	350	4
С	700	350	300	1
d	2800	1800	300	1
е	1200	800	300	1
f	700	650	550	1
Ø	570	570	300	1

電気・機械配管支持 26個 ジャッキアップ

DATE

意

<del>---</del> 07

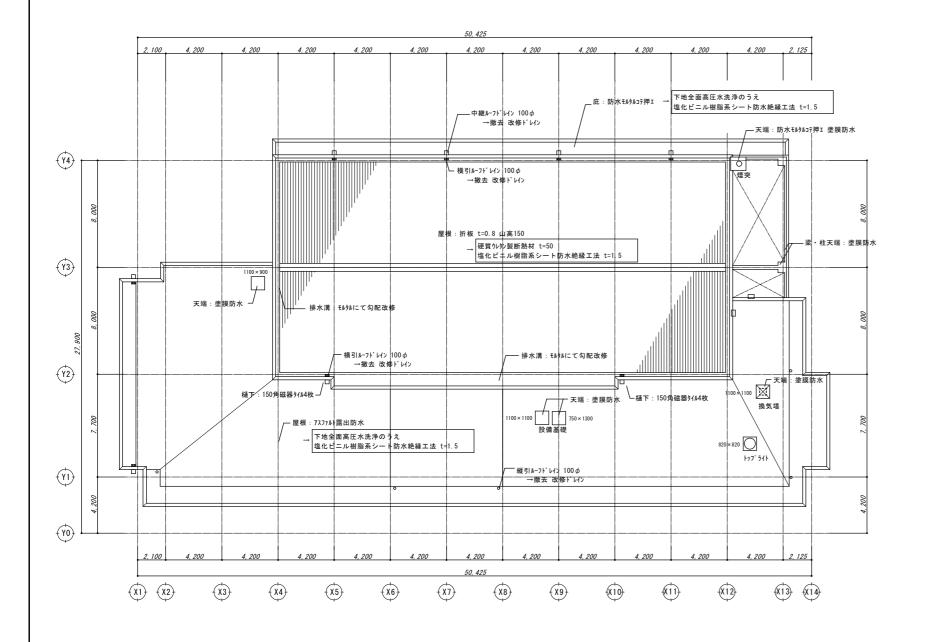
 株式会社 東亜設計
 管理建築士 柿本 惠

 一級建築士事務所
 1 級建築士 登録第125566号

 工事名称
 平成24年度 山村開発センター防水改修工事
 設計
 製図

 図名
 2階平面図
 縮尺
 1:200

2 階屋根平面図



改修仕様

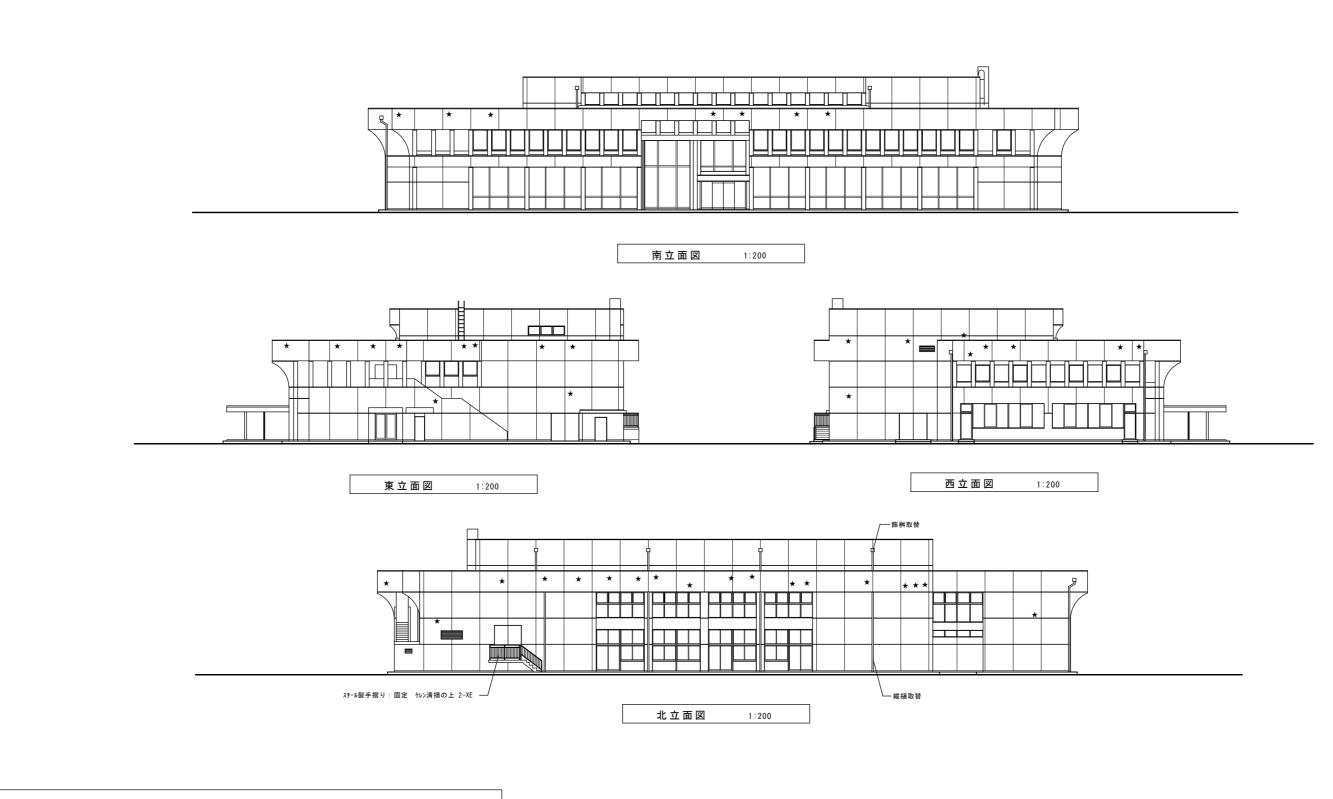
以修江稼		
場所	現況	改修方法
平場	露出7スファルト防水層	下地全面高圧水洗浄のうえ 塩化ビニル樹脂系シト防水絶縁工法 t=1.5 (ポリエステル変成ポリメリック可塑材100%)
平 場 (折板葺き)	折板 山高150 t-0.8	硬質ウレタン製断熱材 t=50 塩化ピニル樹脂系シート防水絶縁工法 t=1.5 (ポリエステル変成ポリメリック可塑材100%)
立上がり	露出アススファルト防水層撤去	下地全面高圧水洗浄のうえ 塩化t*ニル樹脂系シート防水密着工法 t=1.5 入り隅・出隅部は積層銅板使用
パラペット	カラー鋼板笠木 撤去 露出アススァルト防水層 撤去	7ルミ笠木 W=250 カラー 塩化ピニル樹脂系シート防水密着工法 t=1.5
ドレイン	竪・横引きがレインφ100(125φ)撤去	改修用塩ビ製ドレインφ100(125φ)用+ドレインキャップ
備考	架台:防水モルラルコテ押ェ シート防水 梁・柱天端:防水モルタルコテ押ェ	架台:塗膜防水 梁・柱天端:塗膜防水

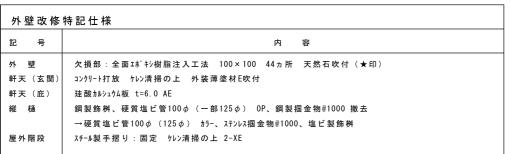
屋根伏図 1:200

意

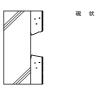
**株式会社 東亜設計** 管理建築士 柿本 惠 一級建築士事務所 1級建築士 登録第125566号 図 名

設 計 製図 工事名称 平成24年度 山村開発センター防水改修工事 縮尺 屋根伏図 1:200





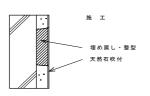
## 外壁欠損部・木片・その他部分改修要領



エ 程 1. 祈り 2. 洗浄・清掃 3. 埋め戻し・成型 (厚付モルタル) 4. 中性化防止層 (防錆ベースト)



下地処理 祈り 洗浄・清掃



意

**—** 09

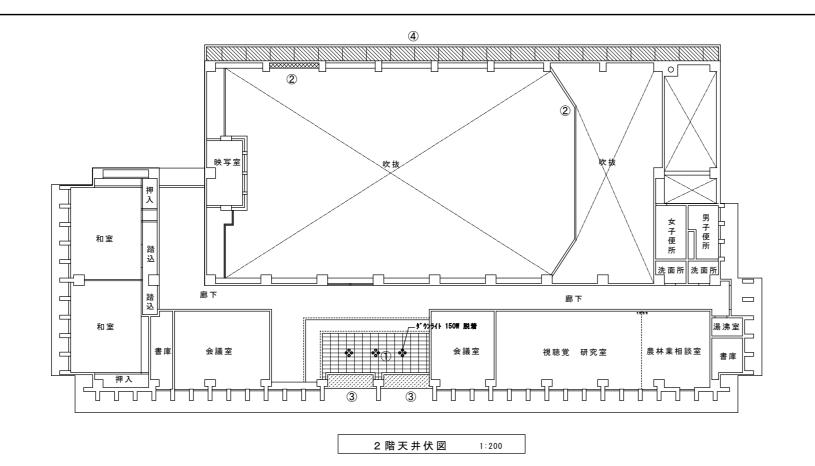


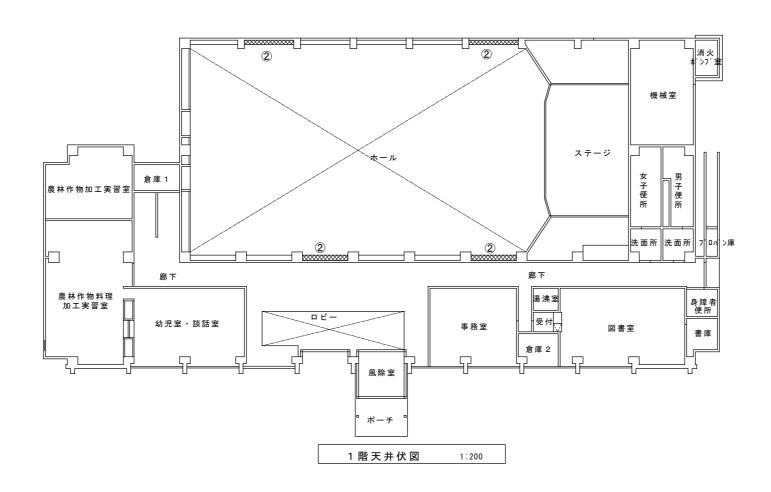
**株式会社 東亜設計** 管理建築士 柿本 惠

一級建築士事務所 1級建築士 登録第125566号

設 計 工事名称 平成24年度 山村開発センター防水改修工事 図名 縮尺 立面図

製図 1:200





凡例	
符号	仕 上
1	既存PB t=9.0 ロックウール吸音板 t=15.0 (リプ) 撤去 PB t=9.0 ロックウール吸音板 t=15.0 (リプ) 新設
2	既存 有孔シナペニヤ t=6.0 EP 撤去 有孔シナペニヤ t=6.0 EP 新設
3	既存 コンクリート打放 外装薄塗材E吹付 がいた がまな がまま がまま かま がま がま がま がま がま かま
4	既存 珪酸カルシュウム板 t=6.0 外装薄塗材E吹付 撤去 珪酸カルシュウム板 t=6.0 AE 新設
	アルミ製天井点検口
C. BOX	木製カーテンボックス 100×150 SOP
	特記なき限り未改修部分を示す

設計

縮尺

1:200

DATE

意

<del>---</del>10

製図

